



KOMON

浦和は江戸時代から仙道の宿場町として整備され、埼玉県の行政・経済の中枢として発展してきた。当時の老舗もあり、現在は様々な歴史要素と魅力を併せ持つ街である。県庁通りと旧中山道との交差点にあたるこの場所は、近代の浦和の街並みの発展を牽引してきた。そこで歴史や街並みを取り込み、新たな浦和の門となる建築を考えた。外観を構成するのは横層するコンクリートフレームとガラスと格子である。この土地の歴史や記憶を移し込むフレームとして具現化しており、大小のフレームと波打つ格子がランダムに積み重なる。今にも動き出しそうなフレーム群は、この街の更なる発展の可能性を表す。テラスや庇に配した花木をまとうコンクリートの構造体は、長きにわたりこの地に佇み、浦和の街とともに、浦和宿のシンボルの「門」としてこの街を見守る。

用途：商業施設
敷地面積：606.26㎡
延床面積：2623.74㎡

構造種別：RC造(地上8階建+PH)
建築面積：454.37㎡
建蔽/容積：74.95%/432.77%

